



……決定項目



……検討項目

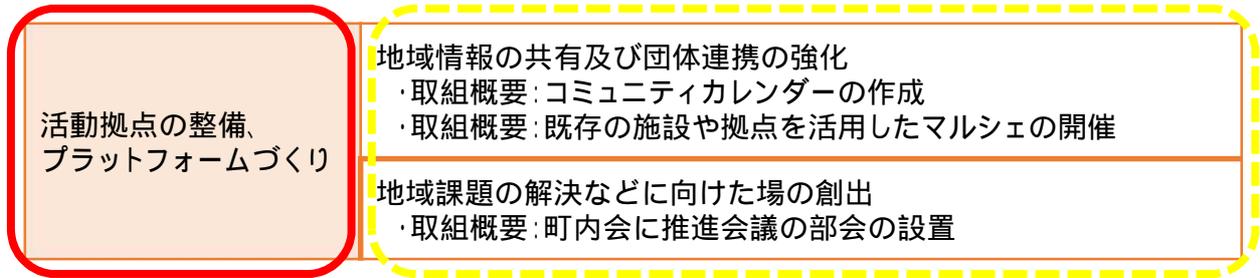
優先的に取り組む分野 『活動拠点の整備・プラットフォームづくり』

現状の課題

- ・各団体の活動を互いに知らないのだからそれを共有する必要がある
- ・地区ごとの課題を持ち寄り連携して解決していくための場がない
- ・地域活動を維持・拡大するには、活動拠点を地域全体へ周知することも重要である
- ・地域内の連携によって、地域内での情報共有や賑わいの創出、交通利便性の向上なども期待できる



令和4年度(2022年度)に地域が主体的に活動可能な分野



アクションプランとして位置付ける取組の分野候補(案)

令和4年度(2022年度)から5か年程度で取り組む分野

地域の担い手の育成	地域人材が将来的に戻って来なくなるための地域の魅力向上 計画を実現するリーダーや地域情報のインフルエンサーの育成
地域情報の発信力の強化	地域での幅広い情報共有、SNSを活用するための環境整備 空家・遊休農地を再利用しやすい環境づくり
交通利便性の向上	交通(バス、タクシー、電車、モノレールなど)の利便性の向上 病院や学校、買い物への移動をサポート(コミュニティバスなど)
地域コミュニティの活性化	地域での見守り隊を結成
行政との連携強化	担当所管との定期的な意見交換(双方の情報共有の強化) 計画を実施するための組織づくり